

## 1 組織

(1) 都立新島高等学校 学校運営連絡協議会 (全日制課程)

(2) 事務局の構成 教務主任 (事務局長)、教務部員 1 名 計 2 名

(3) 内部委員の構成

・ 校長	・ 副校長	・ 経営企画室長
・ 教務主任	・ 生活指導主任	・ 進路指導主任
・ 学年主任	合計 7 名	

(4) 協議委員の構成

・ 新島村教育委員会教育課長	・ 新島村立新島中学校長
・ 都立新島高等学校同窓会長	・ 都立新島高等学校 P T A 会長
・ 警視庁新島警察署代表	・ 新島村役場総務課長
・ 都立新島高等学校卒業生保護者代表 (平成 1 9 年度卒業生)	合計 7 名

## 2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他

第 1 回 令和 3 年 6 月 29 日 (火)

出席者 内部委員 7 名、協議委員 7 名 計 1 4 名

内 容

- ・ 協議委員委嘱
- ・ 委員紹介
- ・ 評価委員の選出
- ・ 令和 2 年度学校経営報告・令和 3 年度学校経営計画の説明
- ・ 昨年度の学校運営連絡協議会の課題
- ・ 本校を取り巻く現状と課題等説明
- ・ 意見交換

第 2 回 令和 3 年 1 2 月 2 0 日 (月)

出席者 内部委員 7 名、協議委員 6 名 計 1 3 名

内 容

- ・ 今年度の教育活動に関する報告
- ・ 協議委員からの教育活動に対する意見
- ・ 学校評価の内容検討、協議

第 3 回 令和 4 年 3 月 紙面による開催とする

出席者 内部委員 7 名、協議委員 7 名 計 1 4 名

内 容

- ・ 今年度の教育活動に関する報告
- ・ 協議委員からの教育活動に対する意見
- ・ 学校評価集計結果の検討

- ・学校運営に関する提言
- ・協議委員（外部委員）へのアンケート実施
- ・次年度に向けた方向性の確認

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和3年12月20日（月）

出席者 内部委員4名、協議委員3名 計 7名

- 内 容
- ・学校評価の基本方針の確認
  - ・昨年度の学校評価結果の分析・考察
  - ・今年度の学校評価の実施に向けた検討
  - ・今年度の学校評価の観点・項目、内容、実施時期の検討
  - ・原案作成

第2回 令和4年3月 紙面による開催とする

出席者 内部委員4名、協議委員3名 計 7名

- 内 容
- ・アンケート集計結果の分析・考察
  - ・課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

- ①「本校の教育活動全般への理解度、満足度」
- ②「学校の意欲」
- ③「学校の実践」

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・1月 全校生徒 対象：45名 回収45名 （回答率 100%）
- ・1月 保護者 対象：45世帯 回収45世帯 （回答率 100%）
- ・1月 地域住民 対象：22世帯 回収20世帯 （回答率 91%）
- ・1月 教職員全員 対象：24名 回収24名 （回答率 100%）

(3) 主な評価項目

- ・学校運営、学習活動、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康安全、ライフ・ワークバランスの実現など

(4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容を含む）

<学校評価アンケートの変更点>

1. 質問項目 12 村民運動会は、中止となり中高合同運動会として開催したので、項目を変えた。
2. 評価項目は昨年度と同様にした。
3. 評価項目を精選して3年目となるため、今年度から評価結果を経年で比較検討することとなった。

<評価の概要>

1. 学校生活は充実している。昨年に引き続き、生徒・保護者・地域・教職員ともに評価が高いが「そう思う」と答えた生徒が前年比で11%低下している。
2. 学校の様子が伝わってくる。「そう思う」と答えた保護者が18.2%と、昨年同様低い数字である。
3. 入学して良かった。生徒・保護者・地域・教職員ともに評価が高い。
4. 「朝の読書」は良い。生徒・保護者・地域・教職員ともに評価が高い。
5. 新島研究や食の自立など、地域教材を取り入れた授業があるのは良い。「そう思う」と答えた生徒が71.1%と、昨年比23.1%も高くなった。保護者・地域・教職員ともに評価が高い。
6. 自宅でよく勉強している。生徒・保護者・教職員とも「あまり思わない」「まったく思わない」の割合が高い。
7. 進級・卒業の基準や成績の付け方を知っている。生徒・保護者・教職員ともに評価が高い。
8. 放課後や土日等に補習・補講を実施していることは良い。「ややそう思う」も含めると生徒・保護者・教職員ともに良好な回答が多い。
9. 基本的な生活習慣が身についている。「そう思う」と答えた保護者が34.9%と昨年比17.4%高くなった。
10. 学校の生活指導は、しっかりしている。昨年に引き続き評価が多い。
11. 文化祭は充実している。「ややそう思う」も含めると生徒・保護者・教職員ともに評価が高い。地域には公開していないので、評価なし。
12. 中高合同運動会は充実している。「ややそう思う」も含めると生徒・保護者・地域・教職員ともに評価が高い。
13. 学校は、安全確保のため防災教育に積極的に取り組んでいる。「ややそう思う」も含めると生徒・保護者・教職員ともに評価が高い。地域は「わからない」が47.4%と高い数字である。
14. 生徒の希望する進路の実現はできている。生徒・保護者・教職員ともに評価が高い。
15. 生徒の進路希望に応じた進路指導をしてくれる。「そう思う」と答えた生徒が、62.2%と前年比14.2%高くなった。保護者も43.2%と前年比8.2%高くなった。
16. 中学校と新島高校が連携して教育を行うことは良い。生徒・保護者・教職員ともに評価が高い。
17. 経営企画室は、学校の窓口として対応が良い。「ややそう思う」も含めると生徒・保護者・教職員ともに評価が高いが、「そう思う」と答えた地域が31.6%と前年比20.8%低くなった。
18. 学校は、体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。生徒・教職員ともに評価が高い。
19. 学校は、教職員の健康管理に努め、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。生徒・教職員ともに評価が高い。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

- ・学校の様子を家族に話しているかの質問で、昨年と比較して保護者のマイナス評価の割合が減少しており、今後も学級通信などを通して家庭で学校の話題になるような工夫を継続する。
- ・昨年度に引き続き、自宅でよく勉強していると考える割合が低く、自宅学習習慣の不足が見られる。課題の出し方など授業の工夫が必要であると感じる。また、自宅学習ばかりでなく、自習室や自由スペースの活用など、授業以外で勉強できる場所と機会の確保が必要である。
- ・進級・卒業の基準や成績の付け方を知らない生徒・保護者の割合が減少しており、今後も周知の方法の工夫に継続して取り組む。
- ・基本的な生活習慣が身につけているでは、生徒自身も7割以上が見についていると認識している。保護者の結果からも高い評価を得ている。指導内容や指導方法が理解され、基本的な生活習慣の定着につながった。
- ・生徒の希望する進路実現について、大学進学、専門学校進学、就職と、年度毎に進路希望の偏りはあるが、幅広い進路選択に対応した指導ができていると考える。今後もより進路希望が多様化する事を見据え、情報収集と指導を継続していく。一方、多様な進路選択への対応、進路希望に応じた指導といった面が地域にあまり知られていないため、学校ホームページ等を利用した進路活動や進路実績の発信を、今後も継続していく必要がある。
- ・中学校と新島高校の連携は、おおむね良好な回答が多かった。中高連携を一層推進する。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

##### （1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・学校評価アンケートなどにより、「入学して良かった」「進級や卒業の基準を理解している」「放課後土日等に補講・補習を行っている」などの項目でプラスの評価が多くなっており、教育活動の発信や広報活動の効果が出ていると思われる。

##### （2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・学校評価アンケートなどにより、生徒の学習習慣に課題が見つかった。

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

##### （学校経営計画へ反映）

##### （1）学校運営

学校だよりや学級通信の定期的な発行を促進し、本校の教育活動を地域に積極的に公開する。

小中学校や村教委との連携を促進して、新島村の保小中高一貫教育を充実させる。

##### （2）学習指導

放課後や土曜日を活用し、生徒の学習時間と場所の確保を継続して行う。

学習習慣の確立に向けて、全校あげて組織的に取り組む。

##### （3）特別活動

健全育成の観点から、「協調性・社会性」、「忍耐力・根気」や「自主性」を養うためにも、行事や部活動を一層充実させる。

ライフ・ワークバランスの観点から、部活動のあり方や練習方法の改善を図る。

(4) 生活指導

社会性・規範意識を育成し、自転車通学のマナーや交通安全指導について一層強  
力に指導していく。

SNS東京ルールなどを活用し、ルールやマナーの指導を徹底する。

(5) 進路指導

キャリア教育を推進し、生徒が自ら個性や適性に応じた進路を選択できる力を育  
てていく。

また、個に応じた指導ができるよう、入学時から個別指導や相談体制の充実を図  
るため、教員相互に情報を共有し、組織的な対応を行う。

(6) 特別支援教育

小中学校をはじめ、関係機関との連携を高めて、支援の必要な生徒に対する適切  
な指導の充実を図る。

(7) 健康

地域活動をはじめ、様々な交流活動をさらに推進する。社会との交流を育成の機  
会として活用する。

(8) 安全教育（防災）

近い将来発災が予想されている地震や津波に対する防災意識を高める。

(9) ライフ・ワークバランス

教職員の勤務の効率化を図り、風通しの良い職場環境を整備する。

6 ○「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7名

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数 3名 多少そう思う 1名

そう思う	多少 そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない
3	1	2	1		

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人  
企画調整会議 0回 延0人

8 その他

・保護者、地域住民のさらなる協力を求めていくためにも、今年度のアンケート結果・  
改善策について保護者会をはじめ、保護者とのコミュニケーションに活用する。